

教科	地理歴史	科目	地理B	単位	4単位	年次	高校3年
使用教科書	『高等学校 新詳地理B』(帝国書院) 『新詳高等地図』(帝国書院)						
副教材	『最新地理図表GEO』						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ◆ 昨年度学習した自然環境(気候・地形・植生・土壌)をベースに、人間の社会生活の有機的な結びつきを社会科学的なテーマの学習を通じて理解・考察に努めてほしい。
- ◆ 大学入試問題を題材に、授業で学習、考察、議論した内容をノート形式で学習していく。

2. 学習の到達目標

- ◆ 自然環境(気候・地形など)をベースに、人間活動(産業・文化)をさまざまな視点から理解・考察する。
- ◆ 系統地理的・地誌的に社会情勢の理解・考察を行う。
- ◆ 授業で扱うテーマの背景・事実を整理することで、論理的思考力を身につける。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 技能・表現	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	自然環境・人間活動に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	系統地理的・地誌的資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	自然環境に関する基礎的事項を人間活動と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト ◆ レポート ◆ 定期考査	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト ◆ レポート ◆ 定期考査	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト ◆ レポート ◆ 定期考査	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト ◆ レポート ◆ 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまともりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	人口 都市・交通・貿易	世界の人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏	○	○	○	○	世界の人口分布について理解している。 先進国、途上国における人口問題の違いを理解している。 村落と都市の構造的な違いを理解している。 先進国、途上国における都市問題の違いを理解している。 世界の交通網の構造を理解している。 世界の通信網の構造を理解している。 私たちの生活を支える貿易について理解している。 水平貿易と垂直貿易の違いを理解している。	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト
5			○	○	○	○		
6	地理情報と地図 生活・文化	地図の発達 地図の種類とその利用 地図の活用 身近な地域の調査  世界の衣食住 民族と宗教 現代世界の国家 民族・領土問題	○	○	○	○	様々な地図の図法や特徴を理解している。 地図の特徴を理解した上で活用することができる。  世界の衣食住の地域的差異を理解している。 民族と宗教の関係を構造的に理解している。 国家と民族、領土に関する諸問題を考察することができる。	◆ 授業での観察 ◆ 授業後に提出されるデジタルメモ ◆ 小テスト ◆ 定期考査
7			○	○	○	○		
8			○	○	○	○		

9	資源とエネルギー 鉱工業	世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 世界の工業 第三次産業	○	○	○	○	エネルギー資源をはじめとする世界の鉱産資源の分布やその地域的差異を理解している。  工業の発達について理解している。 工業の立地とその変化について理解している。  世界の工業地域について理解している。 第三次産業の発展について理解している 観光産業の特徴を理解している。	◆授業での観察 ◆授業後に提出されるデジタルメモ ◆小テスト
10								
11	世界地誌	東アジア 東南アジア 南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカ 中南アフリカ ヨーロッパ ロシア	○	○	○	○	これまで系統的(テーマ別)に学習してきた内容を、地誌的に秩序立てて理解することができる。	◆授業での観察 ◆授業後に提出されるデジタルメモ ◆小テスト ◆定期考査
12								
1	世界地誌	アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア 日本	○	○	○	○	これまで系統的(テーマ別)に学習してきた内容を、地誌的に秩序立てて理解することができる。	◆授業での観察 ◆授業後に提出されるデジタルメモ ◆小テスト ◆定期考査
2								
3								

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。